やりゅうでぇ④

夜須町坪井に、十年前にできた町営住宅『菖蒲谷団地』。夜須町内外から移り住んできた住民たちの交流は、自治会をつくることから始まりました。

「ここには何の決まりもない。すべてゼロなのだから、みんなで楽しい団地にしよう」と、住民手作りの活動はスタートしました。

『とにかく近所同士が仲良くし、地域の子どもたちは地域で育てる』をモットーに、『子どものための夏まつり』を行うことになり、祭りの象徴となるものをみんなで作ることになりました。

住民の中には、素晴らしい特技を持った人がたくさんおり、斬新で面白いアイデアが次々出されて、一年目に出来上がったのは金魚の形をしたミニねぶた。デザインを担当する人、土台を作る人、電気を通す人、和紙を張る作業や色塗り、それぞれ子どもたちと一緒に楽しく作業を進めていきました。

これまでに作ったねぶたは、十種類。アンパンマン、ドラえもん、ピカチュウなど…。岡山県に見学に行って作り方を研究し、子どもたちに人気のねぶたを次々と作りました。十一年目の今年は、『ジャンボ灯ろう』を作りました。

この作業には、一歳の子どもも参加することができました。

菖蒲谷団地夏まつりでは、この十年間に、ミュージシャンによるミニライブや、映画の上映、音楽の先生と生徒でつくる団地生まれのアカペラユニットが歌ったり様々なイベントが行われました。

この祭りに一番大事なのは、子どもの意見。子どもたちが、住んで楽しいと思える地域になるために、自治会の役員にも名前を並べています。初代役員として頑張ったメンバーは、もう二十歳。「県外に出て行っても、やっぱりここが好き。いつか戻って来たい」と語ります。

自治会の名前が、『菖蒲谷団地』では堅いので『夢長屋』という別名をもっています。『昔の長屋のように近所同士助け合いながら、いつもみんな夢をもって楽しく過ごそう』という思いと、土佐弁をからめてみました。

「夜須ながや、そうながや、ゆめながや」

子ども主体の会議で夏まつりポスターを制作

▶子どもたちで出店のPR

▲大きな半紙に絵を描いて灯ろうに

編集後記

▼地元主催のお祭りは、子どもからお年寄りまで参加でき、とても温かみがあり、これからも続いてほしいと思います。（松）

▼お祭り三昧の頭を朝晩の秋気にクールダウン。伝統やイベントに集客力のある大きく華やかな祭り。地域の人の顔と繋がりが見えた祭り。それぞれに花がありました／大きなお祭りの翌朝のゴミ。今年は「後のまつり」だけれど、来年は！（井）

▼花火を見るのは毎年地元のお祭りだけ。しかし、今年はたくさん鑑賞できました。せっかくのベストポジションなのに常にファインダーごしに。バシャバシャたくさん撮りました。（N）

平成18年10月1日(日)

9月下旬から調査員がお伺いします。

《広報へのメール》
kouhou@city.kochi-konan.lg.jp
《香南市のホームページ》
http://www.city.kochi-konan.lg.jp

香南市広報「こうなん」平成十八年九月一日発行
編集・香南市広報編集委員会　発行・香南市役所
〒781－5292 高知県香南市野市町西野二七〇六 TEL（〇八八七）五六－〇五一一